様式（6）－3

《参　考》

施工体制台帳　様式例－3（施工体系図）

工事作業所災害防止協議会兼施工体系図

発注者名	
工事名称	

工期	自　年　月　日
	至　年　月　日

元請名	
監督員名	
監理技術者名	
専門技術者名	
担当工事内容	
専門技術者名	
担当工事内容	

会長	統括安全衛生責任者

元方安全衛生管理者

書記

副会長	

（注）一次下請人となる警備会社については、称号又は名称、現場責任者名、工期を記入する。

工事	会社名
	工事内容
	安全衛生責任者
	主任技術者
	専門技術者
	担当工事内容
工期	年　月　日～　年　月　日

（同じ表を16枚）

（A3版）

様式（7）再生資源利用計画書（実施書）－建設資材搬入工事用－　－「建設リサイクルガイドライン」様式－

表面

1.工事概要

発注機関名		発注機関コード＊1	発注担当者チェック欄		請負会社名		請負会社コード＊2
			担当者		建設業許可 または 解体工事業登録	大臣 知事	号
			TEL	（　）	会社所在地		TEL （　） FAX （　）

記入年月日	H.　年　月　日	工事名		工事種別コード*3	請負金額	千百十億億億万万万万 1万円未満四捨五入 0,000 円（税込み）
工事責任者		工事施工場所	都道府県　市区町村	住所コード*4	工期	平成　年　月　日から 平成　年　月　日まで
調査票記入者		工事概要等	施工条件の内容（再生資源の利用に関する特記事項等）			

左記金額のうち建設廃棄物の再資源化等に要した費用
千百十億億億万万万万 1万円未満四捨五入 0,000 円（税込み）
再資源化等が完了した年月日
平成　年　月　日
建築・解体工事のみ右欄に記入して下さい

建築面積	百十万万万千百十一 ㎡	階数	地上　階 地下　階
延床面積	㎡		
構造（数字に○をつける）	1.鉄骨鉄筋コンクリート造　2.鉄筋コンクリート造　3.鉄骨造 4.コンクリートブロック造　5.木造　6.その他		
使途（数字に○をつける）	1.居住専用　2.居住産業併用　3.事務所 4.店舗　5.工場、作業所　6.倉庫 7.学校　8.病院診療所　9.その他		

※解体工事については、建築面積を御記入いただかなくても結構です。

2.建設資材利用計画（実施）

注:コード＊5～9は下記欄外のコード表より数字を選んでください。

建設資材（新材を含む）					再生資材の供給元（再生資材を利用した場合に記入してください）						再生資源利用率
分類	小分類 コード＊5	規格	主な利用用途 コード*6	利用量(A)	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元種類 コード*7	施工条件内容 コード*8	再生資材の供給元場所住所	住所コード*4	再生資材の名称 コード*9	再生資材利用量(B)（注1）	B/A×100
特定建設資材	コンクリート			トン							トン	%
				トン							トン	%
				トン							トン	%
	合計			トン							トン	%
	コンクリート及び鉄から成る建設資材			トン							トン	%
				トン							トン	%
				トン							トン	%
	合計			トン							トン	%
	木材			トン							トン	%
				トン							トン	%
				トン							トン	%
	合計			トン							トン	%
	アスファルト混合物			トン							トン	%
				トン							トン	%
				トン							トン	%
	合計			トン							トン	%
その他の建設資材	土砂			締めm^3							締めm^3	%
				締めm^3							締めm^3	%
				締めm^3							締めm^3	%
	合計			締めm^3							締めm^3	%
	砕石			m^3							m^3	%
				m^3							m^3	%
				m^3							m^3	%
	合計			m^3							m^3	%
	その他（再生資材のみ記入）			トン							トン	%
				トン							トン	%
				トン							トン	%
	合計			トン							トン	%

コード*5
コンクリートについて
1.生コン　2.無筋コンクリート二次製品　3.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品　2.その他
木材について
1.木材（ボード類を除く）　2.木質ボード
アスファルト混合物について
1.粗粒度アスコン
2.密粒度アスコン（開粒度及び改質アスファルトコンクリートを含む）
3.細粒度アスコン　4.アスファルトモルタル
5.加熱アスファルト安定処理路盤材
土砂について
1.第一種建設発生土　2.第二種建設発生土　3.第三種建設発生土
4.第四種建設発生土　5.浚渫土　6.土質改良土
7.建設汚泥改良土　8.再生コンクリート砂
9.山砂、山土等の購入土、採取土
砕石について
1.クラッシャーラン　2.粒度調整砕石　3.鉱さい　4.単粒度砕石
5.ぐり石、割ぐり石　6.その他
その他について（再生資材の名称を具体的に記入）

コード*6
アスファルト混合物について
1.表層　2.基層
3.上層路盤　4.歩道
5.その他（駐車場舗装、敷地内舗装等）
土砂について
1.道路路体　2.路床　3.河川築堤
4.構造物等の裏込材、埋戻し用
5.宅地造成用　6.水面埋立用
7.ほ場整備（農地整備）
8.その他（具体的に記入）
砕石について
1.舗装の下層路盤材
2.舗装の上層路盤材
3.構造物の裏込材、基礎材
4.その他（具体的に記入）
その他について（利用用途を具体的に記入）

コード*7
再生資材の供給元について
1.現場内利用
2.他の工事現場（陸上）
3.他の工事現場（海上）
4.再資源化施設
5.ストックヤード
6.その他

コード*8
施工条件について
1.再生材の利用の指示あり
2.再生材の利用の指示なし

コード*9
コンクリートについて
1.再生生コン　2.再生無筋コンクリート二次製品　3.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.再生有筋コンクリート二次製品　2.その他
木材について
1.再生木材（ボード類を除く）　2.再生木質ボード
アスファルト混合物について
1.再生粗粒度アスコン
2.再生密粒度アスコン（開粒度及び改質アスファルトコンクリートを含む）
3.再生細粒度アスコン　4.再生アスファルトモルタル
5.再生加熱アスファルト安定処理路盤材
土砂について
1.第一種建設発生土　2.第二種建設発生土　3.第三種建設発生土
4.第四種建設発生土　5.浚渫土　6.土質改良土
7.建設汚泥改良土　8.再生コンクリート砂
9.山砂、山土等の購入土、採取土
砕石について
1.再生クラッシャーラン　2.再生粒度調整砕石　3.鉱さい
4.その他
その他について（再生資材の名称を具体的に記入）

注1:再生資材利用量について
アスファルト混合物等で、利用した再生材（製品）の中に、新材が混入している場合であっても、新材混入分を含んだ再生資材（製品）の利用量を記入してください。

裏面にも御記入ください

（A3 版）

様式（8） 再生資源利用促進計画書（実施書） －建設副産物搬出工事用－

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

1.工事概要　表面（様式1）に必ずご記入下さい

2.建設副産物搬出計画（実施）

現場内利用の欄には、発生量のうち、現場内で利用したものについて御記入ください。

コード*14（コード*13で「7.内陸処分場」を選択した場合のみ記入）
1.山砂利等採取跡地　2.処分場の覆土　3.池沼等の水面埋立　4.谷地埋立　5.盛地受入　6.その他

建設副産物の種類	場外搬出時の性状	①発生量（掘削等）=②+③+④	現場内利用・減量 現場内利用 用途コード*10	③利用量	うち現場内改良分	減量化 減量法コード*11	④減量化量	現場外搬出について 搬出先名称（3ヶ所まで記入できます。4ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。）	区分（どちらかに○を付けて下さい）	施工条件の内容コード*12	搬出先場所	住所コード*4	運搬距離 千 百 十 一	搬出先の種類コード*13	受入地の用途コード*14	⑤現場外搬出量	うち現場内改良分	⑥再生資源利用促進量（注2）	再生資源利用促進率 (③+④+⑥)/② (%)
特定建設資材廃棄物	コンクリート塊	トン		トン	トン			搬出先1	公共 民間				km			トン	トン		
								搬出先2	公共 民間				km			トン			
								搬出先3	公共 民間				km			トン	トン	トン	%
	建設発生木材（木材が廃棄物になったもの）	トン		トン	トン		トン	搬出先1	公共 民間				km			トン			
								搬出先2	公共 民間				km			トン			
								搬出先3	公共 民間				km			トン		トン	%
	アスファルト・コンクリート塊	トン		トン	トン			搬出先1	公共 民間				km			トン	トン		
								搬出先2	公共 民間				km			トン	トン		
								搬出先3	公共 民間				km			トン	トン	トン	%
建設廃棄物	建設発生木材（伐木材、除根材など）	トン		トン	トン		トン	搬出先1	公共 民間				km			トン			
								搬出先2	公共 民間				km			トン			
								搬出先3	公共 民間				km			トン		トン	%
	建設汚泥	トン		トン	トン		トン	搬出先1	公共 民間				km			トン	トン		
								搬出先2	公共 民間				km			トン	トン		
								搬出先3	公共 民間				km			トン	トン	トン	%
	建設混合廃棄物	トン		トン	トン		トン	搬出先1	公共 民間				km			トン	トン		
								搬出先2	公共 民間				km			トン	トン		
								搬出先3	公共 民間				km			トン	トン	トン	%
	金属くず	トン						搬出先1	公共 民間				km			トン			
								搬出先2	公共 民間				km			トン			
								搬出先3	公共 民間				km			トン		トン	%
	廃プラスチック	トン						搬出先1	公共 民間				km			トン			
								搬出先2	公共 民間				km			トン			
								搬出先3	公共 民間				km			トン		トン	%
	紙くず	トン					トン	搬出先1	公共 民間				km			トン			
								搬出先2	公共 民間				km			トン			
								搬出先3	公共 民間				km			トン		トン	%
	ｱｽﾍﾞｽﾄ（飛散性）	トン						搬出先1	公共 民間				km			トン			
								搬出先2	公共 民間				km			トン			
								搬出先3	公共 民間				km			トン		トン	%
	その他の分別された廃棄物	トン						搬出先1	公共 民間				km			トン			
								搬出先2	公共 民間				km			トン			
								搬出先3	公共 民間				km			トン		トン	%
建設発生土	第一種建設発生土	地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1	公共 民間				km			地山m³	地山m³		
								搬出先2	公共 民間				km			地山m³	地山m³		
								搬出先3	公共 民間				km			地山m³	地山m³	地山m³	%
	第二種建設発生土	地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1	公共 民間				km			地山m³	地山m³		
								搬出先2	公共 民間				km			地山m³	地山m³		
								搬出先3	公共 民間				km			地山m³	地山m³	地山m³	%
	第三種建設発生土	地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1	公共 民間				km			地山m³	地山m³		
								搬出先2	公共 民間				km			地山m³	地山m³		
								搬出先3	公共 民間				km			地山m³	地山m³	地山m³	%
	第四種建設発生土	地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1	公共 民間				km			地山m³	地山m³		
								搬出先2	公共 民間				km			地山m³	地山m³		
								搬出先3	公共 民間				km			地山m³	地山m³	地山m³	%
	泥土	地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1	公共 民間				km			地山m³	地山m³		
								搬出先2	公共 民間				km			地山m³	地山m³		
								搬出先3	公共 民間				km			地山m³	地山m³	地山m³	%
	合計	地山m³		地山m³	地山m³											地山m³	地山m³	地山m³	%

コード*10
1.路盤材　2.裏込材
3.埋戻し材
4.その他（具体的に記入）

コード*11
1.焼却　2.脱水
3.天日乾燥
4.その他（具体的に記入）

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
（発注時に指定されたもの）
2.B指定処分（もしくは準指定処分）
（発注時には指定されていないが、発注後に設計変更し指定処分とされたもの）
3.自由処分

コード*13（詳細は1表－4参照のこと）

再生資源利用促進（再生利用された場合）	最終処分場・その他（処分された場合）
1.他の工事現場（内陸：公共、民間を含む） 2.再資源化施設（土質改良プラントを含む） 3.有償売却（工事請負会社が建設副産物を売却し、代金を得た場合） 4.建設発生土ストックヤード（再利用工事が決まっている場合） 5.海面埋立事業（海岸、海浜事業含む）	6.最終処分場（海面処分場） 7.最終処分場（内陸処分場） 8.建設発生土ストックヤード（再利用工事未定） 9.焼却施設・最終処分場へ持ち込むための中間処理施設 10. その他（具体的に記入）

注2:再生資源利用促進量について
現場外搬出量④のうち、搬出先の種類（コード*13）が1.～5.の合計

（A3 版）

様式（12）－２

建設工事事故データベース様式による

平成　　年度　事故報告書〔請負業者用〕

（1／3）

作成年月日:H(　　)年(　　)月(　　)日

●工事名		事故発生年月日	H(　)年(　)月(　)日(　)曜日
元請	社　名	●	
	大臣許可番号	●	●電話番号　(　　)－(　　)－(　　)

事故発生状況	
●事故概要（事故に至る経緯と事故の状況）	
●他の作業状況	
●当該作業の指示内容と指示方法（事故当日）	
●当該作業に伴う安全上の注意事項の伝達内容（事故当日）	

（注）事故を起こした業者の上の階層について記入してください。

資格者名	●社　名（注）	●氏　名	●業　務（表－1）	●所有資格	●資格登録No.	実務経験
元請け			(　　)			(　　)年
			(　　)			(　　)年
			(　　)			(　　)年
			(　　)			(　　)年
下請け第1次			(　　)			(　　)年
			(　　)			(　　)年
			(　　)			(　　)年
			(　　)			(　　)年
下請け第2次			(　　)			(　　)年
			(　　)			(　　)年
			(　　)			(　　)年
			(　　)			(　　)年
下請け第3次			(　　)			(　　)年
			(　　)			(　　)年
			(　　)			(　　)年
			(　　)			(　　)年

●工事全体の進渉度	計画(　　)％	実績(　　)％	●当該作業の進渉度	計画(　　)％　実績(　　)％
●事故要因コード				

共通要因（図－6）（事故関係者毎にどれか一つに○さらに( )内に人数を記入する）		
	危害を加える行為をした者	A(　) B(　) C(　) D(　)
	危害を受けた者	A(　) B(　) C(　) D(　)
	自らの行動で被災した者	A(　) B(　) C(　) D(　)
1. 人的要因（表-5～1）	危害を加える行為をした者	その他(
	危害を受けた者	その他(
	自らの行動で被災した者	その他(
2. 物的要因（表-5～2）		その他(
3. 管理的要因（表-5～3）		その他(

●事故の要因	●事故の背景

被害の状況

●被災者氏名				
●性別	1. 男　2. 女	1. 男　2. 女	1. 男　2. 女	1. 男　2. 女
●社員・季節労働者の別	1. 社員 2. 季節労働者	1. 社員 2. 季節労働者	1. 社員 2. 季節労働者	1. 社員 2. 季節労働者
●経験年数	(　　)年	(　　)年	(　　)年	(　　)年
●事故歴の有無とその内容 2. 有りの場合は内容を記入してください	1. 無　し 2. 有　り	1. 無　し 2. 有　り	1. 無　し 2. 有　り	1. 無　し 2. 有　り

（A3版）

様式（12）－3

建設工事事故データベース様式による

平成　　年度　事故報告書〔請負業者用〕

（2／3）

安全管理の実施状況

安全教育の実施状況

現場全体

●安全教育コード　コード表2参照
（a内容には最も重点を置いた項目の上位3つを記入する。）

対象者	a 内容(複数回答可)	b 教材(複数回答可)	c 実施頻度
新規入場者・作業変更者	（　）（　）（　）その他[　]	（　）（　）（　）その他[　]	（　）（　）（　）その他[　]
作業員	（　）（　）（　）その他[　]	（　）（　）（　）その他[　]	（　）（　）（　）その他[　]
その他[　]	（　）（　）（　）その他[　]	（　）（　）（　）その他[　]	（　）（　）（　）その他[　]

●内容

当該作業

●安全教育コード　コード表2参照
（a内容には最も重点を置いた項目の上位3つを記入する。）

対象者	a 内容(複数回答可)	b 教材(複数回答可)	c 実施頻度
新規入場者・作業変更者	（　）（　）（　）その他[　]	（　）（　）（　）その他[　]	（　）（　）（　）その他[　]
作業員	（　）（　）（　）その他[　]	（　）（　）（　）その他[　]	（　）（　）（　）その他[　]
その他[　]	（　）（　）（　）その他[　]	（　）（　）（　）その他[　]	（　）（　）（　）その他[　]

●内容

安全対策の実施状況

現場全体

●安全対策コード
（最も重点を置いた項目上位3つをコード表3から記入する。）

ソフト面：（　）（　）（　）その他[　]
ハード面：（　）（　）（　）その他[　]

●内容

当該作業

●安全対策コード
（最も重点を置いた項目上位3つをコード表3から記入する。）

ソフト面：（　）（　）（　）その他[　]
ハード面：（　）（　）（　）その他[　]

●内容

安全点検の実施状況

現場全体

●安全対策コード
（最も重点を置いた項目上位3つをコード表4から記入する。）

1．人的面：（　）（　）（　）その他[　]　　3．管理面：（　）（　）（　）その他[　]
2．物的面：（　）（　）（　）その他[　]　　4．環境面：（　）（　）（　）その他[　]

●内容

当該作業

●安全対策コード
（最も重点を置いた項目上位3つをコード表4から記入する。）

1．人的面：（　）（　）（　）その他[　]　　3．管理面：（　）（　）（　）その他[　]
2．物的面：（　）（　）（　）その他[　]　　4．環境面：（　）（　）（　）その他[　]

●内容

（A3版）

様式（12）－4

建設工事事故データベース様式による

平成　　年度　事故報告書〔請負業者用〕

（3／3）

●施工および安全管理体制（図式を記載）

（注）
建設業法及び労働安全衛生法上の設置義務者（例えば、管理技術者、統括安全衛生責任者、現場での安全管理体制等）を明記し、元請、下請の判るように記入する。

●事故後の現場全体の措置改善事項等

●事故後の当該作業の措置改善事項等

（A3版）

様式（112）

浸透探傷試験記録書

工 事 名		検査員	印
杭 番 号		確認員	印
検査月日			

1．探傷剤及び条件

検査方法		浸透時間　　分	現像時間　　分
探傷表面状態	□溶接のまま □その他（　　）		気温　開始時　　度 終了時　　度

	使用液製品名	製造会社	ロット番号
浸透液			
現像液			
洗浄液			

2．試験結果

□割れによる指示模様の有無	□無し □有り
□線状欠陥指示模様の有無	□無し □有り 【　　】㎜
□円状欠陥指示模様の有無	□無し □有り 【　　】㎜
□連続欠陥指示模様の有無	□無し □有り　欠陥個数【　　】箇所　最大欠陥長【　　】㎜　隣接欠陥距離 最大【　　】㎜
□分散欠陥指示模様の有無	□無し □有り　欠陥個数【　　】箇所　最大欠陥長【　　】㎜

3．欠陥略図

判　定	

（A3版）